

はばたき

橋北小学校
学校だより

No.13
令和2年9月24日

9月も半ばを過ぎ、少し季節が進んだように感じます。子ども達は、環境整備できれいにいただいた運動場や畑のまわりで虫を捕ったり、トンボを見つけて追いかけたりと、やっと始まった秋を楽しんでいます。

例年とは、方法や規模が少し異なりますが、これからは、運動会や社会見学、体験活動などの学校行事がたくさんひかえています。子どもたちは、それぞれの学年で「今できること」に真剣に取り組んでおり、たくさんの笑顔を見ることができます。運動場では団体種目の練習が行われています。それを見ていると、子どもたちの確かな成長を感じます。



◆実りの秋～5年生稲刈り体験 9月9日～

5月の田植えは、臨時休業中であったため、本日お世話になった山本郁男さんがしてくださいました。田植えをしていただいた後の様子は、式井先生が撮影してくれた写真を見ながら、学習しました。田植えから約4か月。田んぼの苗も立派な稲穂に育ち、いよいよ収穫の時期です。今年は、稲刈りを予定していた日に天候が悪く、2回延期しましたが、9日は、これ以上ないほどの稲刈り日和となり、5年生の子どもたちは、学校で事前に稲刈りをしたバケツ稲や、長靴、水筒、タオルなどを持って、うれしそうに学校を出発していきました。バケツ稲も、夏休みの間に、山本郁男さんが数回、お世話をしに来てくださいました。



今年も山本郁男さん・野津竹次さん・山本元重さん・諸岡彌さん（写真撮影）にお世話になり、稲刈り体験を行いました。はじめに、山本郁男さんから、ひとつの稲穂に50以上のお米が実り、刈り取る一束の稲に20～30の稲穂がついていることを教えていただきました。その後、稲の刈り方と鎌の使い方を教えていただきました。

初めは戸惑い、ぎこちない手つきだった子どもたちでしたが、すぐに稲刈りのコツをつかみ、稲穂の束がどんどん積み上がっていきました。積み上げられた稲穂は、すぐにコンバインで脱穀していただきました。

稲刈りは楽しかったようで、どの子もいきいきと取り組むことができました。田んぼの稲は、あっという間になくなり、代わりに、たくさんの粃を袋に集めることができました。収穫した粃は、精米していただき、自然教室（10月16～17日）の空き缶ご飯（災害時の食事体験）でいただく予定です。

このような貴重な体験ができるのも、ボランティアで田んぼを貸していただき、手入れ

していただいたり、田植えや稲刈り等を教えていただいたりする皆さまや、田植えや稲刈りの時に、子どもたちに待機場所を提供してくださる地域の方々のおかげです。本当にありがとうございました。



◆ 橋北小学校第2回コミュニティスクール運営協議会

9月16日（水）、橋北小学校第2回コミュニティスクール運営協議会が本校会議室で開催されました。

今回は、教職員の代表も参加し、学校の現状や要望をもとに、今後の組織体制や活動内容についての話し合いがもたれました。たくさんのご質問やご意見等もいただくことができ、大変参考になりました。今後、より活動しやすいコミュニティスクールの組織体制を作っていきたいと思います。



また、近づいてきた運動会や学年行事等にも、さっそく、ご協力いただけることになりました。感謝いたします。保護者の皆さまや、地域の皆さまにもご協力をお願いすることもあると思います。どうぞよろしく願いいたします。

◆ ようこそ先輩～橋北中学校2年生キャリア体験～

9月16日と17日の2日間、橋北中学校の2年生がキャリア体験で来校してくれました。緊張しながらも、職員室でしっかり落ち着いてあいさつをしたり、子どもたちの勉強をサポートしたり、小学校の環境整備を手伝ってくれたりしました。

慣れない環境で、新しい体験をたくさんしてもらいましたが、笑顔で子どもたちや教職員といっしょに一生懸命、自分の役割を果たそうと頑張っている姿を見て、とてもうれしくなりました。短い期間ではありましたが、小学校の子どもたちにとっても、思い出に残る、楽しい2日間でした。ありがとうございました。

